

コード	304020501
記入日	H25.6.7

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	江口 幸男

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	母子保健事業
----------	--------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	4
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	1
基本事業コード	30402	基本事業名称	母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	目コード	1
事務事業コード	3040205	事務事業名称	母子保健事業費	細目コード	687
関連計画	次世代育成支援地域行動計画		法令・条例規則等	母子保健法・新上五島町保健関係実施要綱及び交付要綱	

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。				
対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	乳幼児	(対象指標1) 236人				
(対象2)	妊婦	(対象指標2) 104人				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)		(評価年度実績)				(目標達成年度)
*****		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	集団検診実施回数	*****
		乳幼児集団健診回数	20回	100%	÷検診予定回数	平成24年度
		① (達成率分析)	予定どおり集団検診を実施した。			
		*****	*****	*****	母子手帳発行者	*****
		妊婦受診券交付	1,456枚	100%	104人×14枚	平成24年度
		② (達成率分析)	母子手帳交付者全員に検診受診券を交付した。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	乳幼児健診受診者数	*****
		乳幼児集団検診受診者数	199人	84.3%	÷対象者数	平成24年度
		① (達成率分析)	個別通知と母子健康推進員や町保健師による訪問等により健診受診に繋がった。			
		*****	*****	*****	妊婦受診券利用延人数	*****
		妊婦検診受診券利用延人数	1,245人	85.5%	÷受診券交付枚数	平成24年度
		② (達成率分析)	母子手帳交付時に受診券を交付していたが、妊娠届出の時期により受診券の活用が出来ないケースもあった。			

実施 (DO)		※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。									
	単位	全体計画		23年度以前	24年度		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	193	193	173	20	20					
	② 枚	8,010	8,010	6,554	1,456	1,456					
成果指標	① 人	4,346	4,309	4,110	236	199					
	② 人	6,989	6,778	5,533	1,456	1,245					
総事業費 C (A+B)	千円	255,029	249,082	214,370	40,659	34,712					
直接事業費 A	千円	92,629	86,682	72,270	20,359	14,412					
人件費 B	千円	162,400	162,400	142,100	20,300	20,300					
内訳	従事職員数	人	23.2	23.2	20.3	2.9					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円	17,466	16,367	13,223	4,243	3,144				
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	237,563	232,715	201,147	36,416	31,568					

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	母子保健法により定められている。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	健診により乳幼児及び母子の異常の早期発見、疾病予防へとつないでいる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	未受診者には再通知や電話、訪問等を母子保健推進員とともにたつきかけ、受診率の向上を図る。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	法に基づいた事業であり、母子の健康増進、異常の早期発見による医療費の抑制にも効果がある。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	乳幼児健診時には町保健師や母子保健推進員の応援により人件費の抑制に努めている。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	病気や障害の早期発見のため、未受診者をなくし検診率の向上を図ること。また、健康管理については、乳幼児・母子ともにその指導・支援を行っていくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。